

2018 November minou n e t

Vol.46

再生工房を運営する耳納ねっと！がお届けする情報誌
平成16年から、うきは市、田主丸町でエコ活動やっています！



耳 納ねっと！エコ教室作品展を10月19(金)~21(日)に開催しました。展示作品もさることながら、作品販売にも力をそそぎました。期間中、多くの皆様にお越しいただきました。ありがとうございました。この作品展の作品は、着なくなった着物、帯、古布など、捨てられていたかもしれない材料で生まれ変わったものばかり。耳納連山の眺めが素敵なカフェも併設。こちらも賑わいました。次回は2年後の予定です。



耳納ねっと！エコ教室作品展 2018年10月



耳納ねっと アジマ

11/25 (日)

9時～14時

※雨天の場合は12月2日(日)に延期。

- 募集店数** 再生工房広場内に約90店
 - 出店料** 1,000円/ブース
大きさのめやす 2.7m×2.7m 約四畳半
 - 申込方法・期間** 往復ハガキに必ず必要事項を書いてください。
- 往信側に住所、氏名、電話番号、販売する品物(具体的に)、
返信側宛先欄に申込者の住所、氏名を書いて 下記へ。
募集開始11月1日(木) 締切11月22日(木) 必着
お問い合わせ：再生工房 0943-76-2077
出店申込郵送先
〒839-1333 うきは市吉井町富永2006-1再生工房

パシーマの端材を 使った編み物教室

講師：竹下 明子

11/29(木)

13:00～
パシーマはうきは市
生まれの高級寝具。
その端材を使った
編み物です。

**受講生
募集中**

くまのぬいぐるみをつくります。
材料費 300円(編み棒を除く)
編み棒についてはお問い合わせ
ください。



パシーマの端材

このぬいぐるみをつくる予定です。

帯を使ったお正月飾り

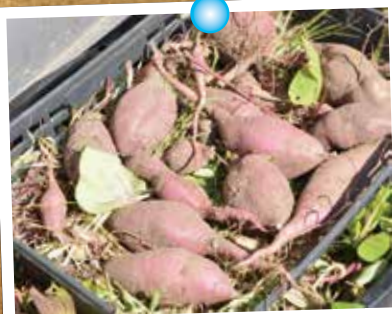
12/12(水)

講師：行天たま江・藤田利子

10:00～

昼食持参
1日教室

**受講生
募集中**



サツマイモをグリーンカーテンにして
みました。サツマイモの収穫は期待して
いなかったのですが、そこそこれました。



使わなくなった帯を使ってトートバッグを
つくりました。教室は大盛況でした。

耳納ねっと!
あなっふ
しょっと



なんとなく使っていた「イモムシ」の名前の
由来が分かりました。イモの葉をよく食べる!



吉井小学童保育の子ども向けに裂き織りコースター
づくりを実施しました。男の子が意外に上手でした。

地球温暖化防止 のために 私達が できること



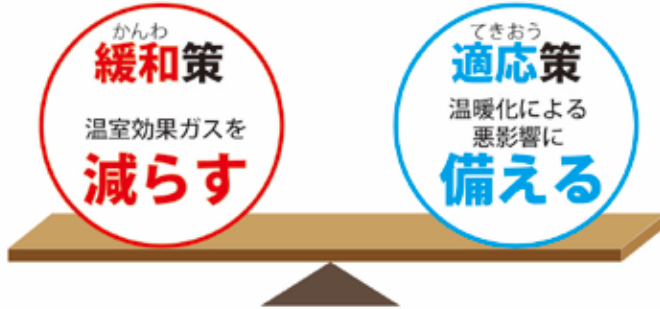
地球温暖化の緩和策と適応策

前回は地球温暖化につながるといわれている二酸化炭素は悪者ではないこと、温暖化対策としてはその二酸化炭素の削減を目標としていることをかきました。

今回からは、温室効果ガスの排出削減・吸収を行う「緩和策」と気候変動（地球温暖化）の防止・軽減のための備えなどを行う「適応策」について書きます。

IPCC（気候変動に関する専門的な国際機関）第4次評価報告書では、**温暖化の緩和策と適応策のどちらも、その一方だけでは全ての気候変動の影響を防ぐことは出来ないが、両者は互いに補完しあい、気候変動のリスクを大きく低減することが可能であることは、確信度が高い**という指摘がなされています。

緩和策（かんわ）と適応（てきおう）策



地球温暖化の緩和策

まず緩和策には、二酸化炭素の排出を抑えるための省エネの行動や、再生可能エネルギー（再エネ）などを早く大幅に増やすこと、二酸化炭素の隔離技術の普及、植物による二酸化炭素の吸収源対策などが挙げられます。

省エネ行動については皆さんもすでに実行されていることと思いますので割愛します。

再エネについては、第5次エネルギー基本計画では、2030年に向けての方針は、主力電源とするため、低コスト化、電力を電力系統に流す時に発生する「系統制約（出力抑制）」（※1）の克服、不安定な太陽光発電などの出力をカバーするための「調整力」の確保に取り組む、と決められています。また、2050年に向けての方針は、経済的に自立し「脱炭素化」した主力電源化をめざす、と決められています。

最も難しい問題は「系統制約（出力抑制）」であると思います。太陽光の出力抑制は現在 10kW 以上が対象ですが、将来 10KW 未満にも適用されるかもしれません。

二酸化炭素隔離（※2）技術については、私見ですが二酸化炭素を隔離しても温暖化が効果的に防げるかわかりませんので、費用対効果や予防原則の点から控えた方が良くと思います。



再生可能エネルギーの代表格、太陽光発電。近年規模の大きなものをよく見かける。

地球温暖化の緩和策として有効な森の復元

森は、二酸化炭素の吸収源として大きな役割を果たしてきました。ところが森を破壊して近代になりました。今それを復元しなければなりません。森にある樹木は、大気中の二酸化炭素を吸収して光合成を行い、炭素を有機物として幹や枝などに蓄えて成長します。光合成を単純化すると、「二酸化炭素を取り入れて酸素を大気中に送り出し、樹木には残ったC=炭素が蓄積される」という図式になります。と同時に、私たち人間と同じように呼吸をして二酸化炭素を吐き出してもいます。それでも、光合成で吸収するCO2のほうが呼吸によって出されるCO2より多いので、差し引きすると「樹木は二酸化炭素を吸収している」ことになります。

また、森は二酸化炭素の吸収源となるだけでなく、水を貯えたり、防災上や景観上や健康上にも有益となっています。今回は適応策について書きます。



2004年9月 2011年1月

森の復元の例：イオン環境財団の植樹活動 イオングループ全体の植樹本数は、1991年の植樹から2013年までの22年間で1,000万本を達成したという。
出典：「フォレストパートナーシッププラットフォーム」ホームページ

※1 系統制約：発電や送電、あるいは変電や配電のために使う電力設備がつながって構成するシステム全体のことを、「電力系統」と呼びます。電気は、需給のバランスがくずれてしまうと、周波数に乱れが生じ、発電所の発電機や工場の機器に悪い影響を与え、最悪の場合は大規模停電につながってしまいます。電気が需要以上に発電され余る場合には、解決手段のひとつとして出力抑制が必要になってくる場合があります。
（出典：資源エネルギー庁ホームページ）

※2 二酸化炭素隔離：化石燃料を燃やしたときに発生する二酸化炭素を大気中に放出せず、海水中に溶解したり（海洋貯留）、地中や海底に閉じ込めること（地中貯留）。（出典：「知恵蔵」朝日新聞社）

（べっがまさとし）



福岡県地球温暖化防止活動推進員
ヒナモロコ里親会 会員
耳納ねっと！会員

別府 正俊

ダンボールコンポストモニター事業 協賛企業のみなさま

3R(リデュース・リユース・リサイクル)の推進・循環型社会を目指します

株式会社ミュルステーション

ゴミの片づけや処分のごことでお困りでしたら、是非当社にご連絡下さい!

【業務内容】産業廃棄物収集運搬業・一般廃棄物収集運搬業・リサイクル業

〒839-1301 福岡県うきは市吉井町桜井 461 番地 1 TEL:0943(76)5757 FAX:0943(76)5767



株式会社 飛鳥産業

〒838-1311

福岡県朝倉市多々連字松ノ木782番地1

TEL:0946(26)5108 FAX:0946(26)5107

E-mail: k.ikeuchi@asukasangyo.jp

【業務内容】産業廃棄物収集運搬業・一般廃棄物収集運搬業・有価物買取・古物商取引



有限
会社

田主丸衛生社

代表取締役 石井 久利

久留米市田主丸町豊城 1802-1 TEL 0943-72-3655 FAX 0943-73-1635

協賛企業・協賛者の方は通信 minounet (年4回発行) 及び耳納ねっと! ホームページに掲載します。

再生工房エコ教室のご案内

受講料 久留米・うきは在住者 500 円、左記以外は 700 円 (年会費千円で各 200 円引き)
受講は電話予約が必要です。託児 (要予約・無料) もつけることができます。

	12月	1月	2月	3月	備考
リフォーム教室 13:00 ~ 16:00	①5(水)・7(金) ②11(火)・12(水) ③19(水)・21(金)	①8(火)・9(水) ②15(火)・16(水) ③29(火)・30(水)	①7(木)・8(金) ②12(火)・13(水) ③26(火)・27(水)	①6(水)・7(木) ②12(火)・13(水) ③26(火)・27(水)	不要な布を活用する洋裁教室。 ①②③の内容は同じ。 いずれか1つを選択。 講師の指導を受けながら 作りたいものを作ります。
布ぞうり教室 13:00 ~ 15:00 布ぞうり材料づくり 10:00 ~ 15:00	4(火)・5(水) 材料づくり 1(土)	8(火)・9(水) 材料づくり 17(木)	5(火)・6(水) 材料づくり 1(金)	1(金)・2(土) 材料づくり 5(火)	材料を購入すると布ぞうりが 2日間できるプログラム。 材料代 1,000 円。裁縫道具持参。 「材料づくり」は最初の工程から 布ぞうりをつくる教室。
裂き織り教室 朝 9:30 ~ 12:30 昼 13:00 ~ 16:00 / 夜 18:00 ~ 21:00	13(木)・20(木) 開講日注意: 第2・3木	10(木)・24(木)	14(木)・28(木)	14(木)・28(木)	布を細く裂いて卓上裂織機で 織り上げていきます。 卓上裂織機を貸与 (長期受講者は有料)。 第2・4木曜の昼、夜に開講。 裂織機の空き状況要確認。
一閑張り教室 13:00 ~ 15:00	4(火)・6(木)・11(火)	22(火)・23(水)・25(金)	15(金)・21(木)・22(金)	15(金)・19(火)・20(水)	籠をはじめ様々な素材に和紙を 張っていく作品。 初心者は小さなものから作成。 籠、和紙は教室時に販売。
3Rクッキング教室 10:00 ~ 13:00	①7(金) フライパン1つで 豪華パーティー料理 ②14(金) 柿を活用した料理	①11(金) だんだら粥 ②25(金) 本場の中華まん づくり ※②25日は 13:30 開始	①8(金) 塩糍づくりと その料理 ②22(金) 漬け物教室	①15(金) うきはの春の食材 を使った料理 ②22(金) 牛乳を上手に 活用した料理	省エネ、時短など環境に配慮した 料理、郷土・伝統料理、旬の 食材、手づくりにごこだわった 料理教室。 月2回、原則金曜に開講。
きんつぎ教室 18:00 ~ 20:30	金曜コース 7(金) 土曜コース 15(土)	金曜コース 11(金) 土曜コース 19(土)	金曜コース 1(金) 土曜コース 16(土)	金曜コース 1(金) 土曜コース 16(土)	陶磁器の伝統的な修繕法。 修繕材料代 900 円/回が必要。 修繕したい陶磁器を持参。
ダンボールコンポスト講習会 15:00 ~ 16:00	22(土)	26(土)	23(土)	23(土)	ダンボールの中に基材を入れて 生ごみを入れ続けると3か月で 堆肥にかかります。上手に堆肥 にするためのコツを教えます。

再生工房 耳納クリーンステーション付属施設 (指定管理者: 耳納ねっと!)

〒839-1333 福岡県うきは市吉井町富永 2006-1

☎ 0943-76-2077

休館日: 毎週月曜日・夏季・年末年始 開館: 9 ~ 17 時

